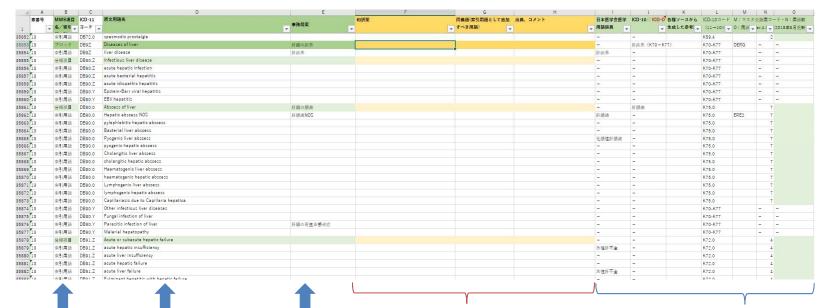
和訳作業ファイルイメージ



D列:原文 E列:事務局仮訳

B列:分類レベル の別(色付きの行 は告示対象予定) 《ご入力いただきたい箇所》

F列:和訳案(代表語、複数入力不可)

G列:同義語(ある場合、複数入力可)

H列:コメント(○○学会への照会が必要、引用した訳語の出典(可能な場合は、用語コード等)、事務局案を変更した理由等)



参考訳等

I列:日本医学会医学用語辞典

J列:ICD-10又はICD-0の訳語

※I,J列は英語が完全一致するものの

み

K列:上記を含め各種ソースを元に機械的に生成された訳語(研究班)

L列:参考ICD-10コード(分類項目レ

ベルでのマッピング)

M~O列:L列のICD-10コードに対する 「ICD10対応標準病名マスター・傷病 名マスター準病名マスターの用語



Non-Wilsonian hepatic copper toxicosis of infancy and

英語に対する訳語が複数ある場合

→代表語を一つ選択し、「和訳案」に入力。 その他の訳語は、「同義語」として入力してく ださい。複数の同義語がある場合は、セミコ ロンで区別をお願いいたします(同義語1:同 義語2:同義語3)

※なお、「同義語」は、索引語としてブラウザ 上に掲載すべきと考えられるものを入力して ください。例えば、「肝線維症」に対し「肝せ んい症」等を入力する必要はありません。

英語が異なるが、和訳は同じ

→同じ訳語を複数回ご使用いただ いて構いません。



索引語として

- 肝硬変(Hepatic cirrhosis)
- 肝硬変(liver cirrhosis)

と表示することを予定

但し、同一語の数等を考慮して調 整させていただく場合があります。

ICD独特の訳語にもご配慮をお願いします

〇〇、詳細不明

Certain specified XXX 特定の明示された〇〇

他に記載のないものという意味です XXX NOS OONOS

及び ICD-11では「且つ」を意味します and

又は

別シートに事務局で使用した定型訳の例がございます。

B列:緑色のセルは、 クリックするとICD-11のブラウザの該当箇 所に飛びます。

索引用語

索引用語

35960 13

DB93.21

DB93.21

Copper excess

	原文	事務局案	代表語	同義語	出典、コメント
CA23.20	Aspirin-induced asthma	アスピリン誘発性 喘息			
CA0A.0	AERD - [aspirin exacerbated respiratory disease]				
X章	Aspirin	アスピリン			

- ① Aspirin-induced asthmaに対する訳語として、事務局案が適切かを確認
 - →OK:代表語列に訳語をコピー
- ② 臨床現場で頻繁に使用されている同義語がないかを確認→アスピリン喘息、NSAIDs過敏喘息がある →同義語列に アスピリン喘息;NSAIDs過敏喘息 を追加(同義語はコロンで区切り)
- ③ 可能であれば、用語の出典を追記
- ④ 上記、AERD [aspirin exacerbated respiratory disease]のように事務局案がない場合は、訳語を作成
 →AERD [アスピリン増悪呼吸器疾患] を入力し、同義語を確認。前出の同義語としたNSAIDs過敏喘息は、こちらの同義語が適切なため、前の入力を修正。

※代表語の候補に優劣がない場合は、直訳を優先させてください(分類全体の訳語の統一感を出すため)。

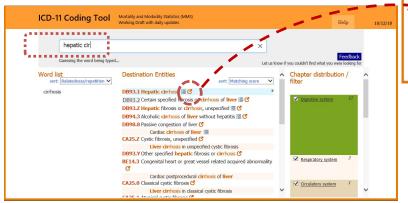
※和訳作業の中で、お気づきの分類の問題点は、コメント欄への記載ではなく、改正提案として、WHOのプロポーザルプラットフォームにて意見提出をお願いいたします。例:AERDが本来は、アスピリン喘息の同義語となるべきといったような場合。

Ш
答
\dashv
/
ア
1
ルレ
, , , ,

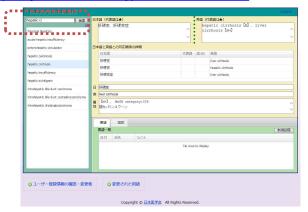
	原文	事務局案	代表語	同義語	出典、コメント
CA23.20	Aspirin-induced asthma	アスピリン誘発性 喘息	アスピリン誘発性 喘息	アスピリン喘息	○○学会用語辞典、 ガイドライン
CA0A.0	AERD - [aspirin exacerbated respiratory disease]		AERD [アスピリン 増悪呼吸器疾患]	NSAIDs過敏喘息	◇◇学会との調整 が必要
X章	Aspirin	アスピリン			

和訳の際に是非ご活用いただきたいツール

1. ICD-11ブラウザ・コーディングツール https://icd.who.int/dev11/l-m/en https://icd.who.int/devct11/icd11 mms/en/current#/



2. 日本医学会医学用語辞典Web版http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html





- ICD-11 (Mortality and Morbidity Statistics) Foundation Id: http://id.who.int/icd/entity/178131569; Diseases of the stomach or the duodenum DB93.1 Hepatic cirrhosis Diseases of small intestine Diseases of appendix Diseases of large intestine Diseases of anal canal DR93 Henatic fibrosis or circhos Show all ancestors ⊗ Diseases of liver DB90 Infectious liver disease DB91 Acute or subacute hepatic failure Hepatic (liver) cirrhosis is the end stage of fibrosis of the liver caused by many kinds of liver DB92 Non-alcoholic fatty liver disease diseases and conditions. Diffuse nodulation of liver due to fibrous bands subdividing liver into ▼ DB93 Hepatic fibrosis or cirrhosis regenerative nodules. Blood vessels reach outflow through resistant collagen which DB93.0 Hepatic fibrosis contributes to the portal hypertension. Liver cirrhosis is usually irreversible. Some patients with DB93.1 Hepatic cirrhosis
 - ■和訳の際は、分類体系を踏まえることでより適切な訳となると考えられます。作業エクセルファイルだけでは分類構造の表示が困難なため、WHO提供のウェブツールをご活用ください。分類内の類似する用語の検索等も参考になる可能性がございます。
 - □ なお、エクセルファイルは、2018年6月18日固定版(ブラウザ の帯が青色)を元に作成されていますが、この版はウェブ上で は索引用語が表示されないため、ご確認の際は日々更新されて いるこちらのオレンジ色のブラウザをご参照ください。時点が 異なるため、エクセルファイルとブラウザでコード番号等に若 干の異動がある可能性がございます。
 - □学術的な整合性に配慮した訳語を 作成するため、日本医学会が整備 している日本医学会医学用語も是 非ご参照ください。エクセルにも 英語で完全一致する一部の情報を 掲載しておりますが、ウェブでご 確認いただくとより多くの情報が 得られます。
 - □日本医学会分科会は、分科会ごと に通知されたIDがございます。個 人でIDを作成することも可能です。

- 3. その他
 - ICD-10 (2016年版) (英語): https://icd.who.int/browse10/2016/en
 - ICD-10(2013年版)準拠(日本語):https://www.mhlw.go.jp/toukei/sippei/
 - ICD10対応標準病名マスター・傷病名マスター4.05版(2018.6) http://www.dis.h.u-tokyo.ac.jp/byomei/